

News Release



令和8年2月13日

各報道機関文教担当記者 様

科学技術イノベーションを牽引する次世代の傑出した人材を育成 小中学生が研究成果を発表 金沢大学STELLAプログラム

金沢大学は、次世代の科学技術イノベーターを育成する「金沢大学STELLAプログラム(次世代科学技術チャレンジプログラム) (※)」として、北陸三県の小学校高学年、中学生が対象のジュニアコースと全国の高校生などを対象にしたシニアコースを提供しています。

ジュニアコースでは、石川、福井、富山から科学者を目指す小学校5年生から中学校3年生までが所属し、金沢大学で開催するさまざまな科学講座や研究交流を通じて楽しくそして深く学び、興味のある研究テーマで個人研究にも挑戦してきました。

このたび、ジュニアコースの成果発表会および修了式を実施します。

成果発表会（ポスター発表）では、2023年度生Bステージ受講者（第二段階修了者）と2024年度生Aステージ受講者（第一段階修了者）が、その集大成を披露します。成果発表会後には各ステージの修了式を併せて執り行います。

つきましては、当日の取材・報道をよろしくお願いします。

金沢大学STELLAプログラム次世代科学技術チャレンジプログラム ジュニアコース 2025年度 成果発表会・修了式

日 時： 令和8年2月15日（日）14：00～16：00

場 所： 金沢大学人間社会3号館 2階 会議室 他（金沢市角間町）

概 要： 14：00～15：00 成果発表会

15：30～16：00 修了式

ご来場の際は、まず会場受付（13：30～14：00）にて取材である旨お知らせください。
添付資料もご参照ください。

※「次世代科学技術チャレンジプログラム」

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）がこれまで実施してきたグローバルサイエンスキャンパス（GSC）とジュニアドクター育成塾を発展的に統合し、小中高校生を対象とした長期的かつシームレスな育成プログラムで、本学は令和5年6月に実施機関として採択されました。

採択企画名は、「小中高大院混成プログラムによる未来の課題を探究・克服する科学技術イノベーターの育成」です。（Webサイト：<https://www.jst.go.jp/cpse/stella/>）

【本件照会先】

金沢大学STELLAプログラム（ジュニアコース）
事務局

吉田 環（よしだ たまき）

Tel： 076-264-5587

E-mail：jr.doc@adm.kanazawa-u.ac.jp

【広報担当】

人間社会系事務部総務課総務担当
居村 麻美（いむら あさみ）

Tel： 076-264-5466

E-mail：n-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学STELLA プログラム

「小中高大院混成プログラムによる未来の課題を探究・克服する
科学技術イノベーターの育成」

金沢大学 STELLA プログラム ジュニアコース

2025年度 成果発表会・修了式

【日 時】令和8年2月15日（日） 14:00～16:00

（受付：13:30～14:00）

【会 場】金沢大学 人間社会3号館2階 会議室、402講義室

【実施形態】対面

【日 程】

1. 諸連絡、諸注意

2. 成果発表会 14:00～15:00（2階 会議室）

各ラウンド発表と質疑応答含む

1 R 14:00～14:15

2 R 14:20～14:35

3 R 14:40～14:55

15:00 終了（移動、休憩等）

3. 修了式 15:30～16:00（第2講義棟402講義室）

開会

修了認定証書授与

講評

記念撮影

閉会



背景・目的



背景 現代の子供：ネット上に溢れる情報を基に物事を捉えることが多い。

自ら考え、問題の解決方法を探究する力が低下

イノベーションを起こす人材の不足、科学技術立国日本の存続の危機



目的 個人の高い意欲や資質を発掘し伸ばす取組みを金沢大学で実施

1. 本学のジュニアドクター育成塾(JD：小中型)と
グローバルサイエンスキャンパス(GSC：高校型)を
融合・改新し、金沢大学STELLAプログラムへ進化

金沢大学STELLAプログラム



2. 蓄積したノウハウを広く小中高校へと展開

ジュニアドクター
育成塾



**科学・技術を理解・駆使して自ら課題を発見し、
主体的に解決方法を探究できる傑出した人材を育成**



プログラムの概要



JD + GSC

➡ 金沢大学STELLAプログラム



ジュニアコース
小中学生対象

Bステージ

Aステージ

- 対面講座
- オンライン講座

- 個人研究



Cステージ

- 科学者基礎講座
- 研究テーマの精緻化

シニアコース
高校生対象

D1ステージ

- 大学での研究実践
- 研究成果の発信



D2ステージ

- 発展的研究活動
- 国際学会への挑戦





育てたい人材像と持つべき資質・能力



小中学生に求める3つの能力(I, II, III)を
高校生では7つの能力に発展・拡大。



未来の科学技術
イノベーター

小中学生育成プログラム ジュニアコース



I
知識
技能

自ら科学・技術に対して
課題意識を持ち、主体的に
実社会での問題を発見し、
分野横断的に解決を行い

III
主体性
探究力

II
思考力
発想力
活用能力



大学院進学まで見据えた
「簡単にへこたれない
尖ったキツモノ」

III
主体的
探究

III
こだわり
価値の創造に結びつけて
いく方法を探究できる
人材

II
独自の
発想

I
基礎

科学・技術を
理解・駆使しながら、
文系・理系といった枠に
とらわれず主体的な課題
の発見・解決や社会的な
価値の創造に結びつけて
いく方法を探究できる
人材

II
俯瞰

II
国際

II
跳躍

高校生育成プログラム シニアコース



Aステージ 受講生のテーマ (2024年度生)



入浴剤を自分で作れるのか？	変化する集中力
地震予知・予測の方法	松ぼっくりと黄金比の関係
パルスジェットエンジンの燃費のひかく	本回しのやりやすさの条件
ブラッシングと髪の関係	犬の反応から調べる声のトーンと影響
本当に左利きは筆圧が強いのか？	マダコとヤナギダコの解ぼうして分かったこと
液体が容器から出る時の流れ方の変化	一定の個数の自然数($0 \leq n \leq 9$)の四則演算によってある数 を作れる確率について
ペットボトルで作る雲を増やすには	なぜシダ植物は急に変化したのか？ ～写真と気象データから探るシダ植物の生態～
ペーパークロマトグラフィーで調べる野菜の色素	ハニカム構ぞうの強度について
砂時計の時間のバラツキの本当の原因は？	農業のメリットと環境汚染～もしも環境汚染が津ついたら どうなる？その対策は？～
フォッサマグナで採れる石について	大気圧で缶をつぶそう
材料によるシャボン玉の割れにくさ	勾配が一定の時の水の流れる速さと環境の関係
モミジの翼果の構造について	炭が植物の成長に及ぼす影響
どうやったら竹とんぼを遠く飛ばすことができるのか	変化する集中力